

第 2 次石狩市男女共同参画計画年次報告書（平成 26 年度）実施概要

第 2 次石狩市男女共同参画計画の進捗状況について

1. 事業実施数

基本目標	全事業数		実施事業数				未実施	
	H25	H26	H25		H26		H25	H26
I 男女共同参画社会の実現をめざす意識づくり	41	40	35	85.4%	35	87.5%	6	5
II あらゆる分野への男女共同参画の促進	19	19	17	89.5%	17	89.5%	2	2
III 就業における男女共同参画の環境づくり	22	22	21	95.5%	21	95.5%	1	1
IV 自立を支える社会環境の整備	62	63	59	95.2%	61	96.8%	3	2
V 生涯にわたる健康支援	11	11	11	100.0%	11	100.0%	0	0
計	155	155	143	92.3%	145	93.5%	12	10

平成 25 年度と平成 26 年度の比較

- ・事業数は 155 事業で増減ありません
- ・実施事業数は 143 事業（92.3%）から 145 事業（93.5%）に増加しています
- ・未実施事業数は 12 事業から 10 事業に減少しています

2. 未実施事業の平成 27 年度以降の見通し

- ・10 事業（内訳：実施予定 3 事業 その他 5 事業 廃止 2 事業）

目標	未実施	該当事業	今後の見通し	
I	5	市職員の意識づくり（意識啓発の実施）	その他	実施に向けて検討
		教職関係者の意識啓発	その他	ニーズがあった場合に検討
		学習機会の充実（市民が主体となる講座等への支援）	その他	実施に向けて検討
		地域で活動する女性団体への支援 （石狩市女性団体連絡協議会への交付金交付）	廃止	対象団体が解散したため
		地域で活動する女性団体への支援 （石狩市女性団体連絡協議会の活動支援）	廃止	対象団体が解散したため
II	2	女性の登用についての団体等への働きかけ （市内各団体等に対する働きかけ）	実施予定	H27 に実施済み
		男女共同参画の視点を取り入れた地域づくりの推進 （市民が主体となる講座等への支援）	その他	実施に向けて検討
III	1	性別によらない多様な職業選択の推進 （ロールモデルの発掘、周知）	実施予定	H27 に実施済み
IV	2	保育サービスの充実（認可保育所の整備）	その他	ニーズがあった場合に検討
		若年層に対する取り組み（デートDV防止講座の開催）	実施予定	H27 に実施済み

3. 成果指標の達成度

	項 目	H23	H24	H25	H26	H27	(参考) 札幌市
I	「男女共同参画社会」という用語の周知度	24.2%	50.9%	53.6%	54.5%	100%	43.8% (H23)
	市役所における男性の育児休業取得者の人数	0人	1人	0人	0人	累計で 5人	
II	市の審議会等委員に占める女性の割合	25.7%	24.9%	31.6%	37.2%	40%	36.9% (H26)
	市役所の管理・監督職（主査職以上）に占める女性の割合	10.9%	13.1%	13.9%	14.1%	18%	12.7% (H26)
III	職場・職業で男女平等と感じる人の割合	—	—	—	18.4%	30%	16.7% (H23)
	「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」という用語の周知度	37.6%	36.3%	37.8%	29.2%	50%	24.9% (H23)
IV	保育所の待機児童数（申請待機の年間平均）	0人	0人	0人	0人	0人	
	配偶者暴力防止法の認知度	85.2%	88.1%	90.3%	82.3%	100%	74.1% (H23)
V	乳がん検診受診率(40～59歳)	37.1%	44.7%	49.6%	52.8%	50%	

「IV保育所の待機児童数（申請待機の年間平均）」「V乳がん検診受診率」を除く全ての項目で目標値に達していませんが、計画初年度の平成23年度から比較すると、おおむね目標値に向けて数値が伸びています。

一方で、「男女共同参画社会」、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」という用語の周知度や配偶者暴力防止法の認知度については、低い数値となっています。

以上のことから、年代を問わず広く市民に啓発することが必要であると考えますが、今後、地域社会全体で「男女共同参画社会」を推進していくためには、子どもの頃からの意識づくりが必要不可欠であるため、若年層に対する取組みが優先すべき課題であると考えます。